

- 問1 室町時代の定期市において、広く流通していた中国から輸入された銅銭を何という？
- 問2 守護大名を倒し、約100年間にわたって民衆による自治が行われた現在の石川県にあたる地域はどこか？
- 問3 室町時代中期、将軍の継承問題などをめぐって起こり、下剋上の風潮が広まるきっかけとなった出来事は？
- 問4 中世において、寺社の門前や交通の要所に、決まった日にちや回数で開かれる商業活動の場を何といいますか？
- 問5 祇園祭が室町時代に一時中断する原因となった、京都を主戦場とした大規模な内乱を何という？
- 問6 慈照寺銀閣の東求堂同仁斎に見られる、畳や床の間などを備えた現代の原型となる部屋を何という？
- 問7 1467年、将軍の跡継ぎ問題と守護大名同士の対立がきっかけとなって起こった大きな戦乱を何という？
- 問8 後醍醐天皇が行った政治体制が決裂したことを指す言葉は何？
- 問9 後醍醐天皇による天皇親政が始まるきっかけとなった、1333年に滅亡した武家政権は何か？
- 問10 正長の土一揆において、農民たちが酒屋や土倉を襲い、借金の帳消しを求めた要求を何といいますか？
- 問11 首里を都とする琉球王国が、東アジアと東南アジアの間に立って行った経済活動を何といいますか？
- 問12 能の母体となった、民衆の間で行われていた芸能を何という？
- 問13 室町幕府が関東地方を支配するために設置した、室町幕府の地方統治機関の設置者は誰？
- 問14 足利義満の時代に、公家文化と武家文化が融合して生まれた文化を何という？
- 問15 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書を何という？
- 問16 鎌倉幕府の滅亡後、後醍醐天皇が始めた天皇中心の政治を何というか？
- 問17 浄土真宗の強い信仰で結びついた門徒たちが、室町時代に起こした武装蜂起のことを何という？
- 問18 床の間や付け書院などの特徴を持つ、後の日本建築の基礎となった様式を何という？
- 問19 世阿弥が追求した、能の基礎となる芸術的な美しさを何という？
- 問20 琉球王国が、貿易の拠点として整備した都は現在のどこにあたるか？

答え合わせ・解説

問1	答え 宋銭	宋から輸入された「宋銭」や、後の明から輸入された「明銭」が流通し、人々の生活に浸透しました。これにより、年貢も米だけでなく銭で納められることが増え、商品経済が飛躍的に活性化しました。
問2	答え 加賀国	加賀国では、一向一揆が勢力を拡大し、ついに守護大名を追放することに成功しました。その後、約100年もの長い間、武士や農民たちが話し合いを通じて村を運営する自治が実現しました。これは、当時の日本において珍しい「百姓の持ちたる国」と呼ばれる現象でした。
問3	答え 応仁の乱	8代将軍足利義政の後継者争いに、有力な大名家である細川氏と山名氏の対立が絡み、京都を中心に約11年間も続いた大乱です。京都は灰燼に帰し、幕府の権威は地に落ちました。
問4	答え 定期市	寺社はその権威と安全性を背景に、参拝者が集まる門前や街道の要所に定期市を開かせました。決まった日に開かれるこの市は、農村や都市の人々が物資を交換する場となり、経済の中心地として発展しました。
問5	答え 応仁の乱	約11年間にわたって京都の市街地が戦場となり、寺院や屋敷が焼き払われました。京都の街は壊滅的な被害を受けましたが、一方で幕府の権威は地に落ち、全国で下剋上の風潮が強まることとなりました。
問6	答え 和室	室町時代に発達した書院造は、床の間や違い棚、障子、襖、そして部屋全体に敷き詰められた畳が特徴です。これが慈照寺銀閣の同仁斎という部屋に結実し、後の住宅様式の基本となりました。
問7	答え 応仁の乱	この対立は1467年に武力衝突へと発展し、京都を主戦場として約11年間にわたって続きました。将軍の権威は失墜し、守護大名同士の勢力争いが全国へ拡大しました。
問8	答え 建武の新政	建武の新政では、公家を重んじ武士を軽視する政策が行われました。その結果、土地を失うことへの不安や恩賞への不満を抱いた武士たちの支持を失いました。混乱の中で足利尊氏が離反し、新たな政権へと移行することになりました。
問9	答え 鎌倉幕府	鎌倉幕府は、北条氏が実権を握り、武士による裁判や土地支配を行う仕組みを整えていました。しかし、1333年に足利尊氏や新田義貞の活躍によって滅亡しました。これにより約150年続いた武士による支配体制が一時的に崩れることとなりました。
問10	答え 徳政	土一揆において農民たちは「徳政」を要求しました。これは、債務者の借金を無効にする、あるいは利子を免除するといった救済措置のことです。彼らは酒屋や土倉を襲い、借金の証文を奪って破棄させるなどの実行を行いました。
問11	答え 中継貿易	琉球王国は、中国の明との進貢貿易を軸に、日本や朝鮮、さらには東南アジア各地の産物を互いに取り寄せて売りさばく中継貿易を行いました。これにより莫大な富を得て繁栄しました。
問12	答え 猿楽	「猿楽」は、当時の民衆に親しまれていた物真似や軽業、踊りなどを中心とした芸能です。室町時代になると、観阿弥・世阿弥親子によって芸術的な洗練が加えられ、「幽玄」の美を伴う現在の能へと進化しました。
問13	答え 足利尊氏	尊氏は、鎌倉幕府の伝統があった関東地方を安定して統治するため、自身の子供や一族を派遣して「鎌倉府」を置きました。これは、京都の幕府とは別に、東国の軍事や行政をまとめる重要な組織として機能しました。
問14	答え 北山文化	北山文化の特色は、伝統的な公家文化の優雅さと、力強い武家文化が融合している点にあります。この時期には金閣に代表されるような建築のほか、禅宗の影響を受けた芸術や学問が発展しました。
問15	答え 二条河原の落書	二条河原の落書は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。二条河原（現在の京都市内）の壁などに書かれたとされており、当時の庶民や武士が感じていた政府への不信感が鋭い言葉で表現されています。
問16	答え 建武の新政	後醍醐天皇は、天皇中心の政治を行うために、公家を重用し武士の意見を十分に聞かれない政策を行いました。京都を中心としたこの政治体制は、武士の土地の権利を不安定にしたため、多くの武士の不満を買う結果となりました。このため、わずか2年半ほどで崩壊しました。
問17	答え 一向一揆	一向一揆は、浄土真宗の門徒が団結して守護大名や他の宗派と戦った武装蜂起です。各地で発生し、時には地域全体の支配権を握るほどの強い勢力を誇りました。
問18	答え 書院造	書院造は、床の間、違い棚、付け書院といった装飾的かつ機能的な要素が備わっているのが最大の特徴です。畳を部屋全体に敷き詰めることが一般的となり、武家だけでなく後に公家や寺院にも取り入れられました。これにより、現在私たちが生活する「和室」の空間デザインが完成しました。
問19	答え 幽玄	「幽玄」とは、単に美しいだけでなく、言葉では言い表せないほど深みのある美しさや、静寂の中にただよう気品を指す言葉です。世阿弥は、単なる娯楽だった猿楽を、この「幽玄」を追求することで、高尚な舞台芸術へと高めました。
問20	答え 首里	首里は琉球王国の王都として整備され、首里城が置かれました。ここを拠点に琉球は明や東南アジア諸国との間で中継貿易を行い、各国の特産物を集めて再分配することで大きな利益を得ました。首里はまさに王国の政治・外交の中心地であり、交易により発展した高度な文化が根付く街でした。